

最近の主な事例（特に大学生年代の被害事例）

典型的被害例

- 旅券の盗難、紛失
エアポートリンク、地下鉄、BTSなどの公共交通機関利用時やイベント参加中に多い。旅券が無いと国内線フライトに搭乗できず、陸路移動するしかない。
- 見せ金詐欺
繁華街などで「日本のお金を見せてほしい」などと声を掛けられ、やり取りしている間に現金やカードを抜き取られる。
- マッサージ店での性被害
外から見えにくいなど、怪しい店で発生。特に女性は注意。
- 大麻、薬物使用でのトラブル
酩酊、幻覚、妄想などで悲惨な事故が発生している。

注意していただきたいこと

- ミャンマーやカンボジア国境付近で活動する場合には、十分な下調べを励行。
- 高給を提示するアルバイトに注意。
- 連絡先はLINEだけでなく電話も確保
大使館には、海外旅行中の子と連絡がとれなくなった親から頻繁に相談が持ち込まれる。
- 海外旅行保険の加入
旅行中の病気や交通事故、水難事故も多い。海外での治療費は高額になりがち。リスク回避のためにも加入して欲しい。
- 帰国後に不調になったら
日本帰国後に発熱、発疹等の症状が出た場合に、必ず「タイから帰国」したことを医師に伝えてください。デング熱、マラリア、ジカ熱など、日本の医師が経験のない病気のため、インフルエンザやコロナと診断を誤る可能性があります。